

令和5年度 学校運営方針

【学校教育目標】

「個人の尊厳を重んじ、真理と平和を希求する人間の育成を期する」

【校訓】

「人の心の痛みがわかる人間に」

「自分に厳しく力いっぱいがんばる人間に」

テーマ「明日も行きたいと思える高鷲中学校」

① 「学校は子どもたちのためにある」

高鷲中学校は、子どもたちのためにある。子どもたちには、学ぶことの喜び、学びあうことの喜びを感じてほしいし、実際に、様々な選択肢を持てるような「力」をつけてほしい。子どもたちには将来にわたって自己実現のために、耐える「力」、苦難を乗り越える「力」を身につけてほしい。そして、私たち教職員は、子どもたちのために最良の教材を提供し、最良の教育を提供したい。それが、私たち教職員の誇りと責任であると考えている。

② 「学校はチームで運営する」

高鷲中学校は、教職員のチームで運営する。子どもたちには、常にチームでかかわり、チームで思いを伝える。私たち教職員は、それぞれの価値観や生き方をもっており、教育に対する様々な課題意識があり、様々な手法で子どもたちに寄り添い、思いを重ねて子どもたちに最良の教育を提供したいと考えている。高鷲中学校においては、教職員が責任と誇りをもって、そして、子どもたちに対する、お互いの信頼関係の中で、OJTにより、学びあい、尊重しながら職務を遂行するものと考えている。

③ 「学校は地域の財産である」という視点を持つこと

高鷲中学校は、地域の財産であると認知され愛される学校づくりを行う。あくまでも学校は、子どもたちのためのものである。その子どもたちの保護者にとっての学校でもあり、地域社会にとっての学校でもある。誇りと責任を持った私たち教職員だからこそ、保護者や地域社会と協働関係を一層構築していきたい。そこには学校評価の観点も求められると考えます。建設的期待度の高い評価があってこそ協働関係が一層育まれるものと考えます。そのためにも学校からの発信が大切であり、子どもたちに手渡す日々の学級通信からも学校の熱い思いが伝わるものと考えている。子どもたちのための学校だからこそ私たちは、保護者・地域社会と信頼関係を一層築き上げていきたいと考えている。